



# 「令和」とともに 愛される町へ

**問** 積立が多くなることはいいことではあるが、事業が停滞していないか。

**答** 財政調整基金が10億円台に回復しています。今後施設の老朽化が進んでいく中、公共施設等整備基金を積み増しし、適正な改修等を行っていきたい。事業については、必要な事業を実施しています。

**問** 森林環境税については補正により対応すると思われが、その活用方法について。

**答** 美里町にはおおむね200万円程度歳入が見込まれます。森林組合と協議が始まろうとしています。現在のところ具体的なものは決まっています。



森林組合による伐採の様子

**問** 地域活性化施設の事業費は約5億円との説明があった。農業振興審議会にはそれぞれの長が出席しているが、町民の意向はどこで反映されるのか。

**答** 平成25年に実施した農業振興審議会から、スマートフォンができるなら農産物の加工販売等多面的機能を有した施設が求められました。その後、国の補助金を活用し、若い人たちに意見を聞き提案をいただきました。また、総合振興計画や総合戦略の策定時にもパブリックコメントを実施しました。今後はこれらの意見等をもとに、具体的な計画について検討していきます。

地域活性化施設整備に当たっては、民間活力を使うのか、町が対応するのか選択する必要があります。今後は、町の農業振興を考えていかないと、町を活かすことは難しいと考えています。多くの人が関わっていく仕掛けを今つくる必要があると考えています。

**問** 屋外放送塔に近い世帯では戸別受信機をいらないというお宅もあるが。

**答** 西日本豪雨では「雨音に線が聞こえなかった」という事例もありました。町としては、あらゆる手段で住民に重要な情報をお伝えしたい。

**問** ミムリン健康ポイントについて、競争をたきつける事業は問題なので、検討してほしい。

**答** 競争を意識して歩き過ぎ、逆効果になる場合もあるようなので、来年度は改善ポイント等、歩数によるものだけでなく、ポイントの付与方法について変更する予定です。

**問** 高齢者運転免許証自主返納の対象者へ、シルバーカーや電動椅子等の購入補助は検討しているのか。

**答** シニアカー等の購入補助については、近隣市町の動向等を見ながら、今後研究材料としたい。



シニアカー

**問** 用排水施設等管理組合について、今後をどのようにお考えか。

**答** 任意の団体に管理などを移管しているのは美里町だけで、ほかの市町では土地改良区が残っています。現在パイプラインが老朽化し大きな課題になっています。国や県の補助金の活用も検討しましたが、任意団体は対象外のため、平成31年度から地権者負担と町からの補助金でパイプラインの機能を維持できるように進めていきたい。

**問** 商工会館の建設についての見解、また町の観光の目玉をどのように考えているか。

**答** 新たな会館建設に当たっては、町からの支出につ

**問** 美里町全域での浸水想定が分かるようにならないか。

**答** 現在ハザードマップで浸水想定区域が示されているのは小山川ですが、志戸川や天神川についても洪水ハザードマップがつくれぬか研究しています。



ハザードマップ

**問** 新規事業の発達支援相談員について、どのような事業か。

**答** 町内の保育園・幼稚園を巡回し、障害の早期発見・対応の助言を行うため、群馬大学の教授へお願いし、巡回15回、個別相談5回を予定しています。

いても考えなければなりません。観光について「これだ」というものはありませんが、皆さんと考えていきたいと思っています。

**問** 産業団地の調整池の維持管理は美里町で行うのか、進出企業の共用管理なのか。

**答** 共用管理が可能かどうかは未確定なため、当面の間は美里町で維持管理を行う予定です。

**問** 交通指導員は5名のままだが、以前の6人体制に戻してほしい。

**答** 町でも5人よりも6人のほうが望ましいですが、希望者が見つからない状況です。引き続き、増員に向けて検討します。



中学校での交通指導

**問** 消費税の増税に合わせた学校給食費の助成は。

**答** 平成31年度は、学校給食費補助金を増額します。補助額は、以前消費税増税時に月額200円の補助、その後さらに物価高騰分として月額100円の補助をして、現在月額300円の補助となっています。平成31年度は、物価及び栄養価基準等を勘案して月額400円の補助額を計上しています。

**問** 中学校管理事業のバス借上料の減額について。

**答** 中学校のバス借上料については、基本的なこの時点で歯どめをかけるべきかという点で、近年全国大会等に出ている子どもたちもいる中、町がどこまでお金を持つのかということに関して、通常は教育上の目的の中で中体連等の主催のものは持つのであって、それ以上のものに関しては果たして町が持つべきなのかどうか考えなければいけないと思います。

## 賛成討論

本予算は、町の重点施策に位置づけられている「寄居PAスマートIC事業」・「産業団地整備事業」において経済発展の期待が持たれます。また、新たな時代を迎える町の新規事業として、地域活性化施設「道の駅」検討事業、地方創生交付金を活用した「健康づくり事業」の推進、教育では、中学校卒業時の英検3級の取得率50%を目指した「美里英検チャレンジ事業」、また、

地域とともにある学校づくりを進める「学校運営協議会事業」、さらには東日本大震災を教訓とした各種防災対策の推進など、住民の生命財産を守り、「心身ともに美しく暮らせる」ための施策が数多く取り入れられています。以上のように、町の将来を見据えて、厳しい財政状態の中であっても、限られた資源と財源で、住民にとって最良の施策を取り入れた平成31年度一般会計予算に対して、賛成の討論とします。

シニアカーなどの購入時には、補助金がつくといいね!



現在、皆さんが使用している戸別受信機は、令和2年の4月から使えなくなる予定です。

